

- 新発田事務所  
〒957-0053 新潟県新発田市中心町2-4-21  
TEL. 0254-21-0700 FAX. 0254-21-0707
  - 村上事務所  
〒958-0852 新潟県村上市南町2-5-19  
TEL. 0254-50-1755 FAX. 0254-50-1756
  - 五泉事務所  
〒959-1805 五泉市船越1-4  
TEL. 0250-47-8333 FAX. 0250-47-7772
  - 国会事務所  
〒100-8981 東京都千代田区永田町2-2-1  
衆議院第一議員会館820号室  
TEL. 03-3508-7493 FAX. 03-3508-3320
- E-mail : [kuroiwa-16@prontonet.ne.jp](mailto:kuroiwa-16@prontonet.ne.jp)  
ホームページ: <http://www.t-kuroiwa.jp>  
携帯ホームページ



まつりごと

# 黒岩政通信

「黒岩たかひろ応援団」会報

第17号  
2016年7月31日発行

新たな局面へ  
スタート



TPP特別委員会

改めて日頃のご支援に感謝申し上げます。  
今年7月には年明けから「衆参ダブル」との憶測が飛び交っていましたが、7月に参院選が行われました。新潟選挙区は野党統一候補森ゆうこさんの奇跡的な僅差の価値ある勝利。全国的には安倍政権の圧倒的勝利に対し新潟からはすさまじく貴重な一矢を報いた事に多くの皆さんと大喜びを致しました。森さんの必死な戦いに改めて敬意を表し祝意を申し上げます。

残念ながら参院選での安倍政権勝利により多くの国政課題がクリアされたかのように思いますが、決してそうではありません。前回の衆議院選では争点を「アベノミクスの是非を問う」としながら、選挙に勝利したとたんに「白紙委任」を受けたがごとく「安保法制」や「労働法制の改悪」を実現しました。今回の参院選でも消費税増税再延期については「アベノミクスの失敗」である事を認めず「新たな判断」でけむに巻き、安全保障や改憲については口をつぐみながら「景気を前に進める」といった抽象的なテーマを掲げながら選挙戦を進めました。多くの国民が潜在的に秘めている実感のない豊かさや社会保障の切りつめによる高齢者や子育て世代の不安、実質賃金の低下などに基づく格差や貧困の問題、更には憲法問題など「安倍政権」に有権者は全面的に賛同した訳ではありません。

さて、この間の通常国会で私は予算委員会、TPP特別委員会、国土交通委員会などでの国会質疑や党務活動、そして地元での様々な活動と今までと変わらず政治に取り組んで参りました。今通信でもその報告をさせて頂きます。今後も国会では引き続き少数野党ではありますが、背景にはこだまする多くの民意を痛烈に政権に届けて参る所存です。

衆議院議員

黒岩 宇洋  
たかひろ





# 手に汗握る参院選

## ●候補者選び

昨年、参院選新潟選挙区はそれまでの定数2から定数1となり、熾烈を極める選挙区情勢となりました。この事から野党の候補者選定が難航。野党第1党の民主党(当時)からは県連代表の菊田まきこ衆議院議員が一旦名乗りを上げましたが、候補者一本化がどうしても必須条件という中で手を下ろすという二重の重い決断に至ったのです。

その後、4月10日新たに「民進党新潟県連定期大会」が開催され私が県連代表に推挙され就任する事となりました。私の最初の仕事は参院選に対する民進党の具体的な対応。野党がまとまってこそ与党との一騎打ちに勝利できる、という従来の方向性の下、4月24日の県連常任幹事会で森ゆうこさんの「推薦」を決定しました。森さんが新潟県初の「野党統一候補」となり他の支援団体や多くの市民・県民を巻き込む選挙構図が確立したのです。こうして全国32ある参院1人区全てで野党が一本化され統一候補が決まりました。

## ●激しい選挙戦

限られた時間の中で前哨戦の火ぶたは切って落とされ、私も先ずは自身の選挙区内の集会、街頭で森さんへの支持を訴えました。民進党としても自らの党员・サポーターや支持層の理解を粘り強く深めて行く活動を徹底していったのです。



小千谷市での個人演説会

6月22日、選挙戦公示日を迎え新潟駅前での第一声、私からも森さんへの支持と「森さんと参院選で戦った事もある私が言うから間違い無い。森さんは最強の統一候補だ。」と野党の結束を呼びかけました。統一候補の威力に一層危機感を募らせたのが政権与党。新潟県には安倍総理が3回も入り、大臣が毎日しかも複数入るという徹底し

て新潟を狙い撃ちする選挙戦となりました。

政権与党が予算を絡めて各団体に働きかけるという大組織戦。こちらも街宣や支持者への電話かけ等の選挙運動を展開し最終盤まで大混戦のまま選挙戦は終わりを告げました。



民進党新潟県連代表就任

## ●薄氷の勝利

7月10日、投票日。午後8時半、私は森さんの選挙事務所に入りました。開票結果が少しずつ出てくると正に抜きつ抜かれつの一進一退の状況。11時、開票99%となっても当確が出ません。参院選という大きな選挙では異例の大接戦という事です。私も固唾を飲んでテレビ画面とネット画面を凝視していましたが、11時半、漸く森さんに「当確」が出ました。選挙事務所は歓喜の渦に包まれます。直ぐに万歳という事となり市民団体の代表に促され私も壇上に。森さんと共に正に万感の万歳を致しました。これを真に手に汗握る薄氷の勝利というのでしょうか。

比例区の結果を確認した頃には夜も明けていました。全国的には与党勝利という結果に。大変厳しい国民の声を真摯に受け止めなければなりません。ただ、新潟県での勝利は大きな大きな一石となって中央に届いたはず。安倍総理一強体制で何から何までまかり通る訳には行かないという県民の声として。



# 予算委員会にて見えるもの



予算委員会冒頭の3日間を「基本的質疑」と呼び、総理大臣始め全閣僚が出席して開会されます。2月5日、私はこの基本的質疑に立ち安倍総理と各大臣に質問して参りました。主にはアベノミクスについてです。

この中で安倍総理の政治姿勢を決定的に示す答弁が。私が「一般の国民、特に地方ではアベノミクスの実感がない」という声を指摘致しました。この質問に対する安倍総理の答弁が「それは黒岩さんが『た

**景気回復実感ない人は「たまたま」**  
景気回復を実感していない人は「たまたま」だ。安倍首相が5日の衆院予算委員会で、政権の経済政策「アベノミクス」による景気回復の効果を感ぜられない人が多いという指摘を受け、立ちながら反論する場面があった。

世論調査「ない」73%でも首相強弁

人倍率の改善などを挙げ「実感はないよって違う。数値はそこをつかない」と主張。実感がないという声を「黒岩さんの会った人がたまたまそう言ったかもしれないが、そうではないと言っている人はたくさんいる」と切り捨てた。

共同通信社の昨年12月の世論調査では、アベノミクスにより景気が良くなったと実感していないと回答した人が73.7%に上り、「実感しているのは23.6%にとどまった。」(東京報道 津田祐慈)

2月6日 北海道新聞

またま』会った人が言っただけでしょ。」啞然としました。場内からも大きな驚きの声。これが安倍総理の「実感」なんですね。

良く分かりました。総理は恐らく一般の国民とは「たまたま」すら会っておらず、特に地方の方とは「極たまたま」も会っていないのではないのでしょうか。大手メディアの世論調査、どれを見ても約8割の国民が「豊かさの実感がない」と答えているにも拘らずこの答弁ですから。逆に新聞の「首相動静」を見ても「ちよくちよく」会っているのは経団連に名を連ねる大企業のトップばかり。一部の人たちから「株高、円安でアベノミクスは大成功、天下の大総理」とでも持ち上げられていれば、一般国民の声を「たまたま」と断じてしまうのでしょうか。極一部の人の声しか届かないのが「安倍政治」です。

アベノミクスを追及  
民主・黒岩氏が質問



衆院予算委員会でアベノミクスなどについて追及する黒岩宇洋衆院議員=5日、国会

2月6日 新潟日報

## 18歳選挙権が実現

## 政治改革事務局長& 青年委員長として

今年の参議院選挙から18歳選挙権が実施されました。昨年の国会で私が筆頭理事を務める特別委員会(政治倫理の確立及



民主党ハイスクールにて「18歳選挙権」をアピール

び公職選挙法に関する特別委員会)で70年振りに選挙権が20才から18才へと引き下げられる公職選挙法の改正が行われました。成立後1年後に施行という事で本年6月19日より18歳選挙権が実施の運びとなり、国政では今回の参院選から初めて18歳から投票に行ける事となりました。

この間、党の青年委員長としても「民主党(その後「民進党」)ハイスクール」を開講し18歳選挙権をアピールするなど若い世代に政治や選挙に関心をもって頂く様務めて参りました。この様な地道な活動も功を奏してか参院選での18歳投票率は51.17

%。近年参院選の20代の20~30%の投票率と比較するとはるかに高い数字を記録しました。初回ばかりでなく今後も引き続き10代の皆さんにも選挙に関心を持って頂く様務めて参ります。

前国会中も党の政治改革本部事務局長として選挙制度に関し大島衆院議長に申し入れを行ったり、特別委員会では公職選挙法の改正を3度行うなど、より民主的で利便性の高い選挙制度の改革に尽力。選挙制度は民主主義の根幹をなすものですから幅広い皆さんの合意形成を図っていきたく思います。



大島衆院議長に申し入れ

# 黒岩たかひろ活動記

主な活動のみ  
紹介します



元旦立ち



村上郡市国政報告会&新年会



阿賀野市国政報告会&新年会



阿賀町国政報告会&新年会



五泉事務所開設



米坂線整備促進期成同盟会総会

- 1月1日 元旦立ち
- 1月4日 第190回通常国会召集
- 1月7日 新発田市新春を祝う会
- 1月8日 新潟県行政書士会賀詞交換会
- 1月9日 村上郡市国政報告会&新年会
- 1月10日 新発田雑煮合戦参戦
- 1月15日 JP労組新潟新春の集い
- 1月17日 阿賀野市国政報告会&新年会
- 1月22日 全日本不動産協会新潟県本部賀詞交歓会
- 1月30日 民主党大会
- 2月7日 加治・加治川地区国政報告会&新年会
- 2月13日 平成27年度村上市体育協会表彰式
- 2月21日 阿賀町国政報告会&新年会
- 2月28日 佐藤ひろお県議後援会総会
- 3月6日 白鳥の供養祭 瓢湖の白鳥を守る会
- 3月12日 胎内市宇の花会
- 3月13日 地元子育て世代の皆さんと懇談会
- 3月13日 黒岩たかひろ後援会幹事総会
- 3月20日 新発田市成人式
- 3月22日 五泉事務所開設
- 3月27日 民進党結党大会
- 4月9日 新潟県弁護士会名刺交換会
- 4月10日 民進党新潟県連大会
- 4月29日 さかな祭in岩船港
- 4月29日 新潟県中央メーデー参加  
以後各地区メーデーに参加
- 5月3日 越佐招魂祭
- 5月15日 新発田駐屯地63周年記念式典
- 5月27日 新潟県社会保険労務士会定期大会
- 5月29日 黒岩たかひろさんと女性の集い
- 6月1日 通常国会会期末
- 6月5日 豊栄国政報告会
- 6月13日 豊田神社例祭(新発田市)
- 6月16日 米坂線整備促進期成同盟会総会
- 6月22日 第24回参議院選挙公示日
- 6月26日 JR東労組新潟地方本部定期大会
- 7月10日 第24回参議院選挙投票日



新発田市新春を祝う会



新発田雑煮合戦参戦



加治・加治川地区国政報告会&新年会



子育て世代の皆さんと懇談会



民進党新潟県連大会



豊栄国政報告会

ごく一部しかで紹介できませんが、日々の活動は黒岩たかひろのホームページでご覧下さい。

**本人が活動日記を更新しています!**

<http://www.t-kuroiwa.jp>

携帯はこちらから .....▶



# 地元イベント

## ◆ 黒岩たかひろ後援会幹事総会

3月13日、年1回開催される後援会幹事の皆様が集う幹事総会が新発田市で開催されました。党本部からは枝野幸男幹事長がお見えになり私に対し過分なる激励のお言葉を頂戴。後援会の皆さんも大いに喜んで下さり実りある総会となりました。

新潟県でも最も広い選挙区である新潟3区の様々な地域で後援会の皆さんが後押しして下さっている事に心から感謝しております。



枝野幹事長

## ◆ 宇の花会総会



5月29日、宇の花会主催の総会&女性の集いが開催されました。女性の皆さんが集うと和気あいあいの和やかさあり、また力強さもあり本当に頼もしく有難い気持ちで一杯です。私自身が気付きにくい女性の視線からの指摘も頂き、大変参考になりました。

昨今は社会全般でも政治においても女性の存在感は増すばかり。家族ともども大いに励まして頂きました。

## 家族も支えています

娘・継末は4才、  
下の息子、一馬は2才になりました。  
二人そろって近所のこども園に通っています。妻・美春も子育て・地域活動と懸命です。  
多くの皆さんから家族も可愛がって頂き、改めて御礼申し上げます。



お正月、諏訪神社にて



各種集会にも家族で参加

## 「黒岩たかひろ応援団」に是非ご入会を!

「黒岩たかひろ応援団」は黒岩たかひろの更なる飛躍を期し、会員一人ひとりがその政治活動をサポートすることを目的としております。皆様から頂いた会費は、会報の発行を含む政治活動に活用させて頂いております。

また、応援団ご入会の方には優先的に地域で行われる集会、座談会のご案内をさせて頂いております。今後、より充実した活動を行うためにも多くの方のご入会をお待ちしております。

【年会費】 年額 1口 5,000円より

【お振込先】

郵便局：口座番号 00550-4-74787  
口座名 「黒岩たかひろと歩む会」  
銀行：第四銀行 南新潟支店  
口座番号 (普) 1769845  
口座名 「黒岩たかひろと歩む会」



### 会費納入にあたっての注意事項

1. 外国人からの政治活動に関する寄付を受け取る事は出来ません。
2. 本人以外の名義または匿名により政治活動に関する寄付をすることは出来ません。

## 黒岩たかひろプロフィール

1966年10月13日生まれ  
新発田市在住  
家族：妻、長女、長男  
東京大学法学部中退  
参議院議員公設秘書などを経て  
2002年 参議院新潟補選で無所属にて初当選  
2009年 衆議院選挙新潟3区から初当選  
法務大臣政務官など歴任  
2012年 衆議院選挙で34票差の惜敗  
2014年 衆議院選挙で2期目の小選挙区当選  
2015年 民主党役員(青年委員長・国民運動委員長) 就任  
2016年 国土交通委員